

# 熊中

クールないかした生徒  
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒  
 ニーズがある(必要とされる)生徒  
 シーンを創れる場面を演出できる(生徒

校長室だより  
 第17号  
 北九州市立熊西中学校  
 校長 江口 恵子

# 小さな気づきを大切にしたい

## 「あなたにあって生まれた詩コンクール」

十二月十二日(土)、北九州市立文学館で、第六回「あなたにあって生まれた詩コンクール」が催されました。

このコンクールは、北九州の生んだ詩人、宗左近(そう さこん)さんとみずかみかずよさんの業績を記念して、五年前から行われているものです。応募数も年々増え、今年は二千三百点を超える応募がありました。

表彰式では、十五名の中学生が表彰されましたが、その中の二名が本校

の生徒でした。すばらしいですね。受賞作品は、二

学期の終業式で、受賞者に朗読してもらいましたが、その中の二年生の詩を紹介します。



北九州市立文学館長賞

ぼくと木

二年 畑 朝日

木と自分を比べてみた

木は動かない

木は一度根を張ると自分では動けない

もしも木に目があっても

木は同じ風景しか見られない

でも

木は一生懸命生きている

ぼくは動くことができる

歩くことも走ることもできる

いろいろな違う風景を見る

ことができる

でも

ぼくは一生懸命生きている

だろうか

木は歩くことも走ること

もできない

いろいろな風景を見ること

もできない

できないことばかりだけれど

木は一生懸命生きている

ぼくはいろいろなことができ

るのに

一生懸命生きているだろうか

黙って立っている木を見ながら

ぼくは自分について考えた

その他の受賞者は、以下のとおりです。

北九州市教育長賞

「隣」一年 有久 優菜

最終候補作品

月 三年 北川 裕貴

## ひびしん俳句大賞



第八回ひびしん俳句大賞授賞式

賞でも、一六七四句の中

「言葉の力」

一年 岩本 大亮

詩は、小さな気づき、

発見から生まれるとよく

言われます。

これからも、普段見過

していること、当たり前

なってしまうものに、

もう一度目を向けること

を大切にさせたいと思

います。きつと今まで見えな

かったものに気づき、違っ

たものが見えてくるかも

しれません。

から二名が理事長賞を受

賞しました。今後も俳句

づくりを通して、自然を

見つめ、言葉を磨くよう

指導していきます。

受賞作品

夏休み一泊二日まくら

なげ 二年 森 光輝

帯しめて心がおどる夏

祭り 一年 古賀 愛奏美